

赤羽根

基礎データ

【人口】2,582人(H21.5.31現在)

【世帯】787世帯(H21.5.31現在)

【面積】約890ha

【公共施設】赤羽根保育園・赤羽根小学校・赤羽根中学校・赤羽根市民センター・消防署赤羽根分署・赤羽根文化会館・赤羽根福祉センター・農業者トレーニングセンター・赤羽根環境センター・道の駅あかばねロコステーション

【文化財】光岩・巖王寺山門

【主な産業】農業・商業・漁業



●赤羽根文化の森から校区南側を望む

校区の概要

あかひがし あかなか あかにし
赤東区・赤中区・赤西区の3地区からなる赤羽根校区。国道42号が東西に走り、南側は太平洋に面し、サーフィンや釣りに多くの人々が訪れます。北側には温室・ビニールハウスが建ち並び、電照菊・トマト・鉢花・メロンなどの施設園芸が盛んです。

「潮騒と若者でにぎわう赤羽根」を将来像として掲げ、まちづくりを推進しています。

ボディボード体験学習



●ボディボード体験

赤羽根校区は自然に恵まれ、サーフィンに適した波が寄せてくる海岸があります。夏には、赤羽根小学校の児童たちがボディボードを体験します。親子参加の行事で、赤羽根だからこそできる体験学習です。お父さん方とのふれあいの場としても一役買っています。

ふれあい活動



●赤中地区のお祭り

10月の第2日曜日、3つの地区がそれぞれ別々に秋のお祭りを開催します。その1つ赤中地区では、手作りの山車と、子供会を中心とした太鼓や笛のお囃子で盛り上がります。また、屋台のバザーは地区の男衆が取り仕切る恒例の行事となっています。子供たちに祭りの伝統を残したいという区民の思いで、いつしか、子供たちが参加しやすい日曜日の開催となりました。

「三世代でふれあいを！」をキャッチフレーズに、子ども会・区会・老人会を中心として、一昨年の夏



●ふれあい地引き網

に“ふれあい地引き網&バーベキュー大会”を開催しました。予想以上の大漁に、子供たちの歓声が上がりました。

道の駅

あかばねロコステーション



●あかばねロコステーション

田原市で3つ目の道の駅“あかばねロコステーション”が3月にオープンしました。赤西地区にある赤羽根漁港に隣接し、太平洋を一望できるこの道の駅は、地元住民も称賛する絶好のロケーションです。訪れた観光客も、しばし散歩したくなる美しい砂浜もあります。土産物は地元の物産が中心で、校区の活性化につながる事が期待されています。



●赤羽根西海岸